

「Tokyo Contemporary Art Award」 概要

【目的】

国内で実績があり、世界に発信すべき中堅アーティストのステップアップを促し、世界で活躍するアーティストの登竜門となるような賞として、東京の文化都市としての魅力を向上させる。

【対象】

海外での活動に意欲があり、概ね10年以上の活動経歴を有する現代美術の分野で活動する中堅アーティスト（ジャンル不問）

【特徴】

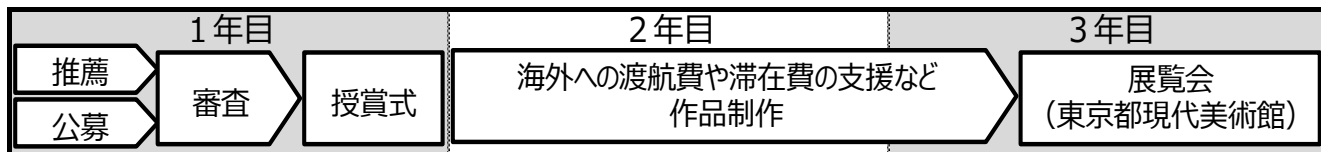
- ・スタジオ訪問や面談により、**作品のみではなく、制作のプロセスを含めたアーティストのポテンシャルを総合的に審査**
- ・受賞から、**東京都現代美術館で展覧会を実施**するまで、2年間をかけて**継続的に支援**

【支援内容】

受賞者は2組とし、それぞれに以下の支援を行う。

- (1) 賞金300万円
- (2) 海外での活動支援上限100万円（旅費、滞在費、調査・制作費等）
- (3) 展覧会実施（東京都現代美術館での展示）
- (4) モノグラフ（作品集）の作成（上記（3）の展示にあわせて制作）

【賞のスケジュール】



選考委員

(順不同／敬称略)

ソフィア・ヘルナンデス・チョン・クイ *第3回(令和2年度)から	旧称 ヴィッテ・デ・ヴィット現代美術センター ディレクター
住友 文彦	アーツ前橋 館長／東京藝術大学大学院 准教授
高橋 瑞木 *第3回(令和2年度)から	CHAT (Centre for Heritage, Arts and Textile) エグゼクティブディレクター 兼チーフキュレーター
キャロル・インハ・ルー	北京インサイドアウト美術館 ディレクター
鷺田 めるろ *第3回(令和2年度)から	十和田市現代美術館 館長
近藤 由紀	トーキョーアーツアンドスペース プログラムディレクター (公益財団法人東京都歴史文化財団東京都現代美術館トーキョーアーツアンドスペース事業課長)

※肩書きは、令和3(2021)年1月時点のものです。